

権利擁護 システム 研究会 2022

今回のテーマは 「家族」

強制入院や強制治療のあり方を考えるにも、日本の精神科医療は、本人と家族の関係、そして法制度における家族の位置づけを無視できない現状にあります。いうまでもなく日本の精神科医療は本人だけでなく、その家族・家族全体に大きな経済的、心理的負担を負わせています。

今年度の権利擁護システム研究会では、「家族」をキーワードに、どんな問題が起こっているのか、その問題が生じる背景や構造には何があるのかについて、さまざまな角度から理解を深め、議論します。



オンライン (ZOOM ミーティング)

研究会4回分
参加費 5,000円

割引参加費 2,500円

(一般参加費のお支払いが難しい場合はこちらをお選びください。)

■ 参加資格 (すべて満たす方)

- 大阪精神医療人権センターの会員の方 (研究会への参加申込とともに会員申込していただければご参加いただけます。)
- 大阪精神医療人権センターの目的・活動に賛同している方
- アンケートの提出にご協力いただける方
- オンラインで参加が可能な方

■ お申込み



<https://omh-system2022.peatix.com/>

メール・FAXでのお申込み方法

■送信先 →ご送信いただきましたら、振込先等の案内を返信します。

メール advocacy@pearl.ocn.ne.jp

FAX 06-6313-0058

■送信内容

○件名 研究会 22 申込

○本文 ①お名前、②電話番号、③参加費、④FAX番号 (FAX 申込の方のみ)

進め方

ゲストスピーカーの方のお話をきき、グループに分かれてディスカッションを行い、全体で質疑応答、意見交換を行います。

2022年12月3日 (土) 14:00~16:00

家族の立場から (子どもの立場・親の立場・きょうだいの立場から)

2023年1月28日 (土) 14:00~16:00

塩満 卓さん (佛教大学・元保健所 PSW)

2023年3月4日 (土) 14:00~16:00

岡田 久実子さん (みんなねつと理事長)

大阪精神医療人権センターの活動の3つの柱の一つは、社会をかえるための発信をすることです。そのための提言や意見書の原案を作るのが、権利擁護システム研究会の役割です。そして、この研究会は、精神科医療の制度的・構造的課題点や精神科病院の治療文化を「かえる」ためのアプローチを検討する場です。

精神医療保健福祉に関する様々なことがらについて、問題の所在を明らかにし、その背景事情を踏まえて、改革(制度も含む)に向けて、講演会や意見書、ニュース等で提示・発信することを目的としています。

お問い合わせ

認定NPO法人大阪精神医療人権センター



〒530-0047 大阪市北区西天満5-9-5 谷山ビル9F

TEL・06-6313-2003 FAX・06-6313-0058

<http://www.psy-jinken-osaka.org/>